

西尾高等学校附属中学校

学校説明会

愛知県立西尾高等学校

- 1 学校長あいさつ
- 2 附属中で目指す人間像
- 3 附属中での学び
- 4 附属中での生活
- 5 アドミッションポリシー
- 6 附中生内進後の西尾高校
- 7 入学者選抜
- 8 質疑応答

Ⅰ 学校長あいさつ

愛知県立西尾高等学校
附属中学校

校長 近藤 哲史

西
高

2 附属中で目指す人間像

1. 文理融合のバランス感覚を身につけ、
探究・行動・振り返りを繰り返しながら、
粘り強く学習に取り組み、学びを楽しむことができる人

2 附属中で目指す人間像

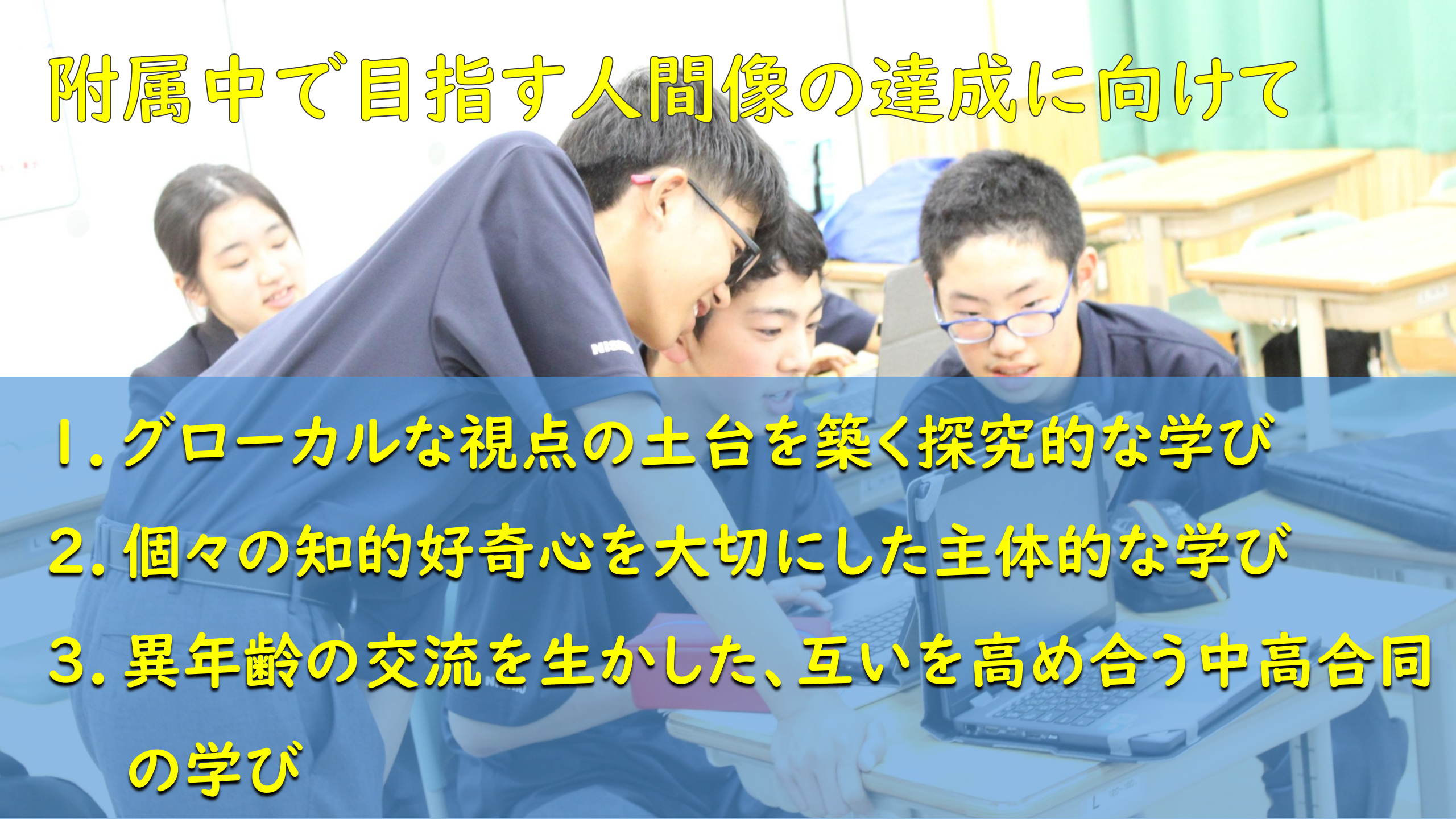


2. 国際共通語としての英語を身につけ、
国際的な視野をもち、世界とのつながりの中で
自分たちの役割を考えて行動することができる人

2 附属中で目指す人間像

3. 多様な人々と協働しながら、
よりよい地域の創生や持続可能な発展のために
行動することができる人

附属中で目指す人間像の達成に向けて

- 
- A photograph of three students in a classroom. A male student in the foreground is leaning over a desk, looking at a laptop screen. Another male student is sitting at the desk, also looking at the screen. A female student is standing behind them, looking on. They are all wearing dark blue school uniforms. The background shows other desks and a green curtain.
1. グローカルな視点の土台を築く探究的な学び
 2. 個々の知的好奇心を大切にした主体的な学び
 3. 異年齢の交流を生かした、互いを高め合う中高合同の学び

附属中の学び

附属中で目指す姿
世界と地域をつなぎ、
よりよい未来を創る人



「グローバルな人材」



世界を見る
広い視野

附属中で目指す姿

地域を
大切にする視点

世界と地域
をつなぎ、
よりよい
未来をつくる

「グローバルな人材」の育成



西
尾
高



西尾高等学校附属中学校は
国際バカロレア (IB)
中等教育プログラム (MYP)
候補校です

IBの教育理念や学習方法を取り入れた学び

附属中の学びの3つの柱

- ① 探究する
自ら問いを立てる
- ② 地域と世界をつなぐ
多様な視点で考える
- ③ 行動する
学びを社会につなげる



① 探究する

① 学びを方向づける

課題を見だし、学習の見通しを立てます。

課題の例

なぜ〇〇は起こるのだろうか？

何を明らかにしたいか

どんな方法で調べるか

どんな力をつけたいか



単元のゴール（総括的評価課題）と評価規準（ルーブリック）を確認し、目標を共有します。

② 調べる

必要な情報を集め、調査や実験、観察を行います。



調査



実験・観察



インターネットなど



さまざまな方法で情報を集め、自分の考えを深めます。

③ 整理する

集めた情報を整理し、気づきや考え方をまとめます。



情報を比較・分類・関連付けて、自分なりの考えをつくります。

④ 一般化する

自分の考えをまとめ、共通点や法則を見いだします。



箇則の事例から、共通する考えや原則を見いだします。

⑤ 転移する

学んだことを新しい場面に生かして考えます。



この考え方は、他の場面でも使えそうだね！

他の場面での活用例

- ・学校生活で……
- ・地域の課題で……
- ・将来の仕事で……

学びをさまざまな場面に広げ、新たな課題の解決につなげます。

① 学びを方向づける

課題を見だし、学習の見通しを立てます。

課題の例

なぜ〇〇は起こるのだろうか？

何を明らかにしたいか

どんな方法で調べるか

どんな力をつけたいか



単元のゴール（総括的評価課題）と評価規準（ルーブリック）を確認し、目標を共有します。

② 調べる

必要な情報を集め、調査や実験、観察などを行います。



調査



実験・観察



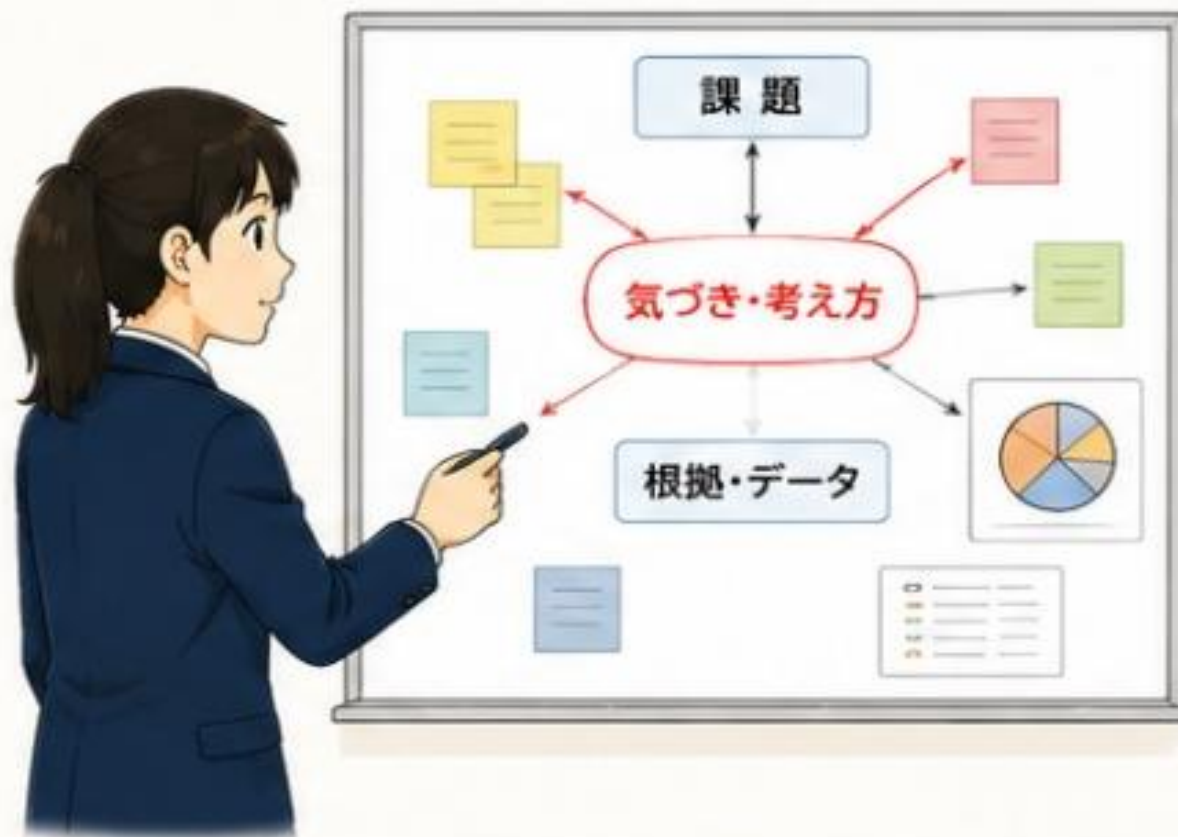
インターネット
など



さまざまな方法で情報を集め、
自分の考えを深めます。

③ 整理する

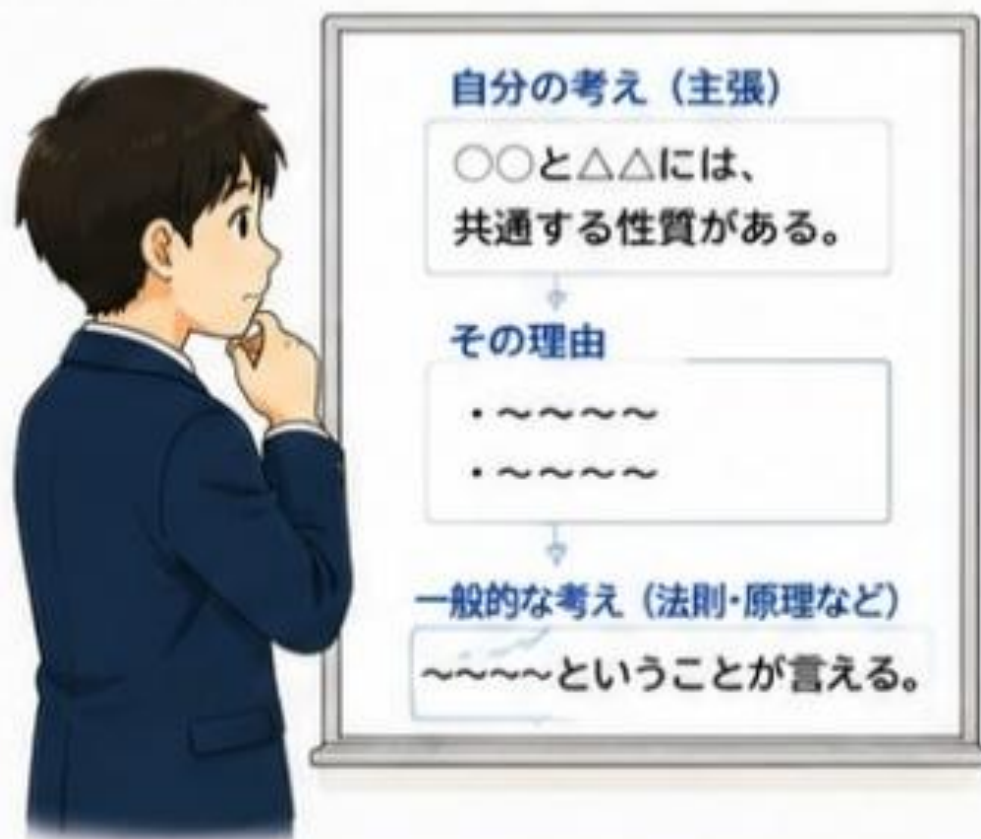
集めた情報を整理し、気づきや考え方をまとめます。



情報を比較・分類・関連付けて、
自分なりの考えをつくります。

④ 一般化する

自分の考えをまとめ、共通点や法則を見いだします。



個別の事例から、共通する考えや原則を見いだします。

⑤ 転移する

学んだことを新しい場面に生かして考えます。

この考え方は、
他の場面でも
使えそうだね！



学びをさまざまな場面に広げ、
新たな課題の解決につなげます。

常に振り返る

学習の途中でも、活動の後でも、
常に自分の学びを振り返ります。



うまくいったことは？
難しかったことは？
次にどう生かす？
どんな力がついた？
まだ分からないことは？

学び方を学ぶ

振り返りを通して、気づきを得て、改善しながら学びを深めていきます。
振り返りは、探究のすべての段階で行います。

授業スタイル

単元ガイダンス（単元の目標、総括的評価課題、評価規準の共有）

最後に力を発揮する課題
（ゴール）

探究

ゴールに向かって
力を伸ばす課題
（ステップ）

形成的評価課題の実施

振り返り→フィードバック→改善→次の探究
（総括的評価課題に生かす）

さらに探究→振り返り→改善を繰り返す

総括的評価課題の実施・提出



探究の途中で、
基礎的な知識の習得
や小テストを実施

②地域と世界をつなぐ

毎週 2 時間
実施

総合的な学習の時間

総合探究



探究ゼミ



総合探究のイメージ

○グローバルの要素⇒「地域」や「世界」
についての探究学習

○グループによる活動



探究ゼミのイメージ

- 探究テーマは自分で設定
- 個人探究
- 3学年混合で実施予定



②地域と世界をつなぐ

毎週 1 時間
実施

グローバルコンピテンスプログラム=GCP



グローバルコンピテンスとは？

世界や地域の課題に向き合い、
他の文化を理解しながら協力し、
行動していく力

グローバルコンピテンスプログラム=GCP

- ・ネイティブ講師＋日本人教員
- ・「英語で」学ぶ時間

多文化理解・協働する力
課題に向き合う姿勢
英語で自己表現する力



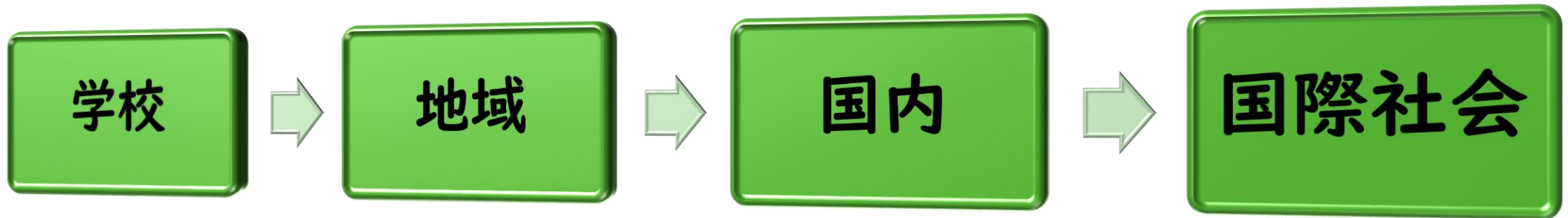
“国際的な視野をもつ学習者”につながる力

⇒ IBの学びを英語で実践するプログラム

③行動する

学びを実際の行動につなげる

➡ サービス・アズ・アクション (SA)



「何ができるだろう」→ 行動する

SAの例 ～学校をよりよくするための行動～

- ① 課題や必要としていることに気付く
↓
- ② 「自分には何ができるだろう」と考える
↓
- ③ 得意なことを生かして行動する
↓
- ④ 学校や地域、社会に貢献する

給食目標のポスター描いてくれる人、大募集！

1. 目的

望ましい食習慣や、給食時間の過ごし方を身につける活動の支援

2. ポスターについて

- ・ 1階廊下のホワイトボードに掲示するポスター
- ・ A4用紙（このプリントの大きさ）とする。
- ・ 給食目標の9月から3月までの7か月分（7枚）

★月、給食目標は必ず入れる。

★おかわりじゃんけん級の熱いパッションで、色をつける

3. 応募者のスケジュール

- ・ 7月15日帰りまでに、SA コーナーの名簿に○をつける
- ・ 7月16日13時20分に、探究ルーム2へ行く
 - ・ 作成するポスターの相談をする。
（応募者が複数の場合は、グループ作成または、給食目標以外の食育ポスターを作る）
 - ・ 紙を受け取る
- ・ 9月1日に、栄養教諭 廣瀬又は木下先生に提出する。



目指す姿 ★ 自ら課題を見つけ、考え、行動できる生徒へ

身につく5つの力

① 自己管理スキル（自分で計画する力）

② リサーチスキル（調べる力）

③ 思考スキル（考える力）

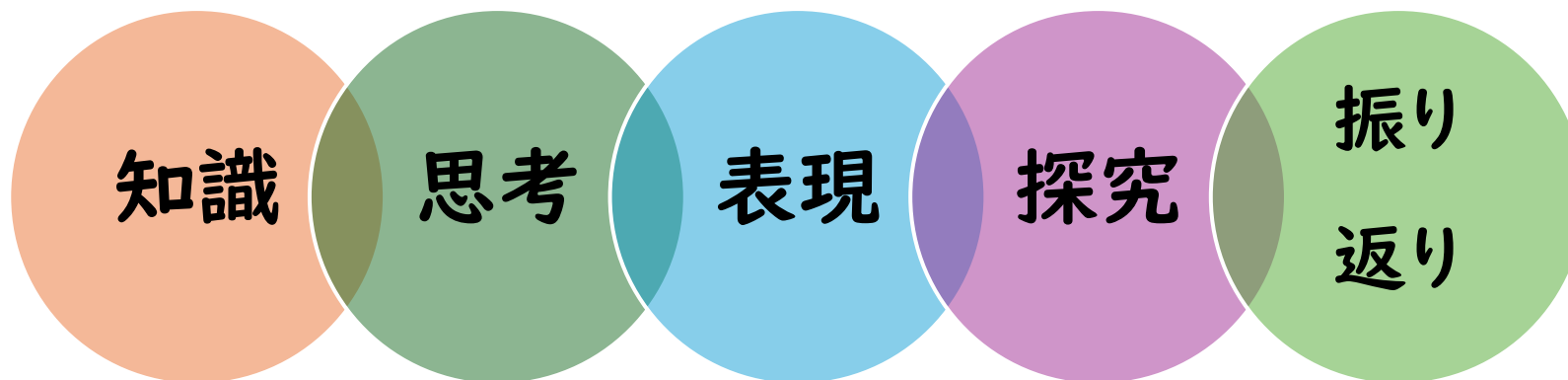
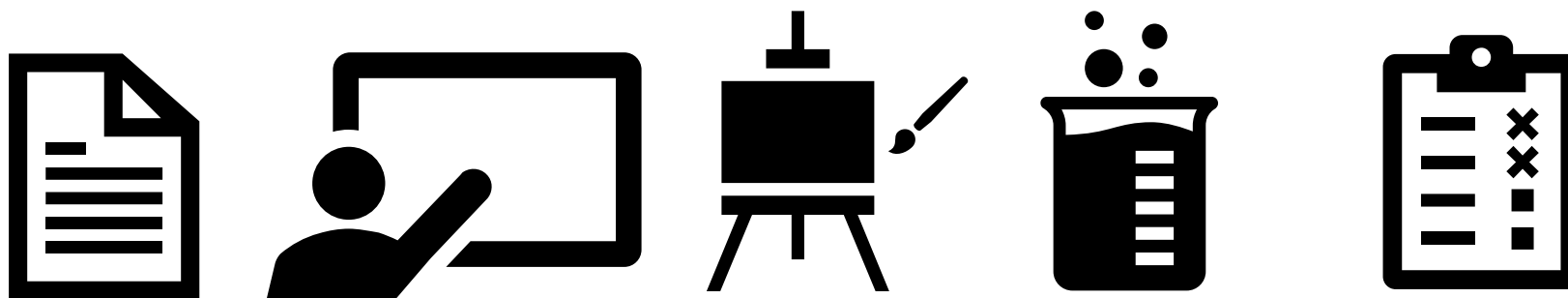
④ 社会性スキル（仲間と協力する力）

⑤ コミュニケーションスキル（伝える力）

評価を通して成長する

評価の方法は、課題や単元のねらいに応じて**多様**

例：レポート、プレゼン、作品作り、実験、ユニットテスト



評価を通して成長する

何を評価するの？

知識、思考、表現、
探究、振り返り^{など}



評価規準
(ルーブリック)



今の自分を知る
次の目標を決める



さらに成長する

●評価規準 (ルーブリック)

達成 レベル	評価規準 情報の伝達 「相手に分かりやすく伝えられたか」
1~2	内容は伝えようとしているが、 声が小さい、資料が見にくいなど、 相手に伝わりにくいところがある。
3~4	ゆっくり話したり、資料を示したり して、伝わる工夫ができている。
5~6	相手を見ながら話し、資料も効果的に使っ て、分かりやすく伝えられている。
7~8	相手の反応を見ながら話し方を工夫し、 聞き手に伝わる発表ができている。

3年間の学びの先に

- 「探究する」
- 「地域と世界をつなぐ」
- 「行動する」



高校でさらに発展



グローバルな人材へ



4 附属中での生活

通学方法：公共交通機関・自転車・徒歩のうち、いずれかを家庭で選択する。

※自転車置き場の関係で、自転車のみ使用制限あり

制服 ※衣替え期間はなし。

夏 服	冬 服
白色カッターシャツ、 ポロシャツ（学校指定）、 スラックス、スカート、カーディガン ネクタイ、リボン	学校指定ジャケット、 白色カッターシャツ、 スラックス、スカート、カーディガン ネクタイ、リボン

かばん・靴：指定なし。各自で学校生活にふさわしいと思うものを選択する。

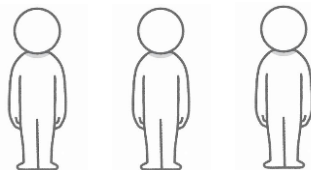
附属中の1日

登校したら、「生活クラス」
の教室へ

A組 35人



B組 35人



愛知県立西尾高等

S T	8:30 ~ 8:40
第1時限	8:50 ~ 9:40
第2時限	9:50 ~ 10:40
第3時限	10:50 ~ 11:40
第4時限	11:50 ~ 12:40
給食	12:40 ~ 13:20
昼休み	13:20 ~ 13:35
第5時限	13:35 ~ 14:25
第6時限	14:35 ~ 15:25
清掃	15:30 ~ 15:40
S T	15:45 ~ 15:55
(課外活動)	(15:55~最終下校)
最終下校	16:45(冬期 16:30)

附属中の担任制度

チーム複数担任制を導入

- ・各学級に担任2人ずつを配置

※4人の教員で一定期間ごとに担任をローテーションをする。



期待される効果

- ・生徒に複数の大人の目が届くことで多角的な支援が行える。
- ・生徒にとって複数の教員と関わることで、相談しやすい環境が整う。
- ・担任に頼るのではなく、自分たちの学級は自分たちで創るという意識がもてる。

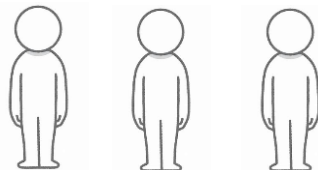
附属中の1日

教科授業は、少人数の
「授業Team」で実施

A組 35人



B組 35人



Team I
23人

Team II
23人

Team III
24人

S T	8:30 ~ 8:40
第1時限	8:50 ~ 9:40
第2時限	9:50 ~ 10:40
第3時限	10:50 ~ 11:40
第4時限	11:50 ~ 12:40
給 食	12:40 ~ 13:20
昼休み	13:20 ~ 13:35
第5時限	13:35 ~ 14:25
第6時限	14:35 ~ 15:25
清 掃	15:30 ~ 15:40
S T	15:45 ~ 15:55
(課外活動)	(15:55~最終下校)
最終下校	16:45(冬期 16:30)

附属中の1日

給食は「生活クラス」で実施

- ・ 西尾市学校給食センターより配送
- ・ 生徒が配膳、片付けを実施（給食当番制）
- ・ アレルギーの対応や暴風警報時における実施の有無は、西尾市立の学校と同様

S T	8:30 ~ 8:40
第1時限	8:50 ~ 9:40
第2時限	9:50 ~ 10:40
第3時限	10:50 ~ 11:40
第4時限	11:50 ~ 12:40
給 食	12:40 ~ 13:20
昼休み	13:20 ~ 13:35
第5時限	13:35 ~ 14:25
第6時限	14:35 ~ 15:25
清 掃	15:30 ~ 15:40
S T	15:45 ~ 15:55
(課外活動)	(15:55~最終下校)
最終下校	16:45(冬期 16:30)

課外活動



課外活動

自分で時間や場所を調整し、主体的に学ぶ
ことを大切にしてほしい

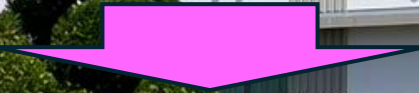
各自で探究に取り組めるよう、中学校の施設
(中学棟、中学体育館)を開放

教育課程上の時間ではないため、必ず
学校に残らなければならない時間ではあ
りません。あくまでも授業後の時間に、学
校施設を使って探究活動をしてもよいとい
う時間です。

S T	8:30 ~ 8:40
第1時限	8:50 ~ 9:40
第2時限	9:50 ~ 10:40
第3時限	10:50 ~ 11:40
第4時限	11:50 ~ 12:40
給 食	12:40 ~ 13:20
昼休み	13:20 ~ 13:35
第5時限	13:35 ~ 14:25
第6時限	14:35 ~ 15:25
清 掃	15:30 ~ 15:40
S T	15:45 ~ 15:55
(課外活動)	(15:55~最終下校)
最終下校	16:45(冬期 16:30)

部活動について

探究活動を大切にするため、中学校に部活動を設置する予定はない。
(高校部活動への中学校段階での参加もなし)



運動関係については、中学校体育連盟や各種目の協会に加盟しないため、個人種目であっても学校から大会へ参加することはできない。

※クラブチームからの参加は可だが、学校からしか出られない大会の場合は出場できないため、注意が必要。

附属中の行事（体験を通して学ぶ機会）

宿泊行事

1年：オリエンテーション合宿（5月）

愛知県知多郡美浜町：美浜自然の家（1泊2日）

2年：イングリッシュキャンプ（10月～11月頃）

愛知県内または近隣県（2泊3日）

3年：修学旅行（検討中）

関東～近畿のどこかを予定（2泊3日）

年間行事（宿泊行事以外） ※検討中

○中高合同の実施

・探究発表会 など

○高校行事の参観

・西高祭（体育祭・文化祭） など

○中学独自の実施

・附中Day ・探究Day校外学習（フィールドワーク） など

※その他、生徒の希望があれば実行委員会を立ち上げ、企画する可能性あり

市立中学校とのちがい

学習面

- ・ IBの教育理念や学習方法を取り入れた学びを展開
- ・ 少人数の授業チームで授業を実施
- ・ 定期テストは行わないが、課題で評価を行う

など

生活面

- ・ チーム複数担任制の導入
- ・ 登下校の方法を家庭で選択
- ・ 授業後は部活動は実施せず、課外活動を実施

など

保護者の皆様へ

保護者負担額（給食費、行事積立金等を含む）

月15,000円～20,000円程度かかる予定

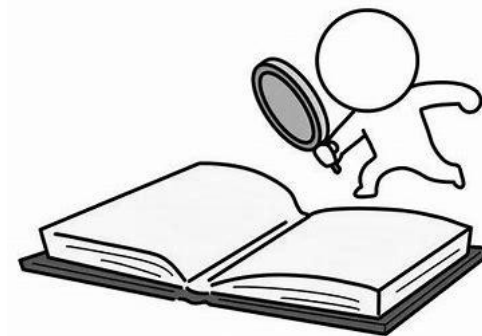
※英語学習を重視した活動や探究学習の教材費等で、近隣の中学校より教材費がやや高くなります。

※入学金、授業料、教科書代は公立中学校のため無償です。

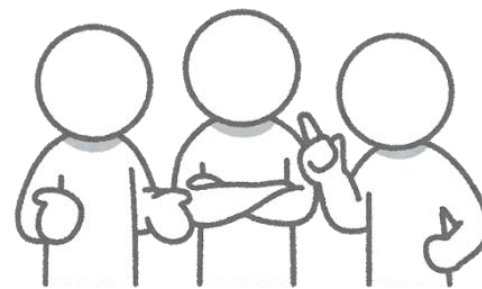
大分県立四尾高等学校附属中学校

アドミッションポリシー（入学を期待する児童像）

1. 興味・関心をもとに問いを見いだし、
その解決に向けて主体的に行動できる人



2. 他者と積極的にコミュニケーションを取り、
協働的に学ぼうとする人



3. 「他者のため」という視点を大切にし、
他者のために役立つことに喜びを感じる人



7 附中生内進後の西尾高校

愛知県立西尾高等学校附属中学校

現在の西尾高校の編成

中学校

中学校

入 試

1 年生

2 ～ 3 年生

文

系
コース

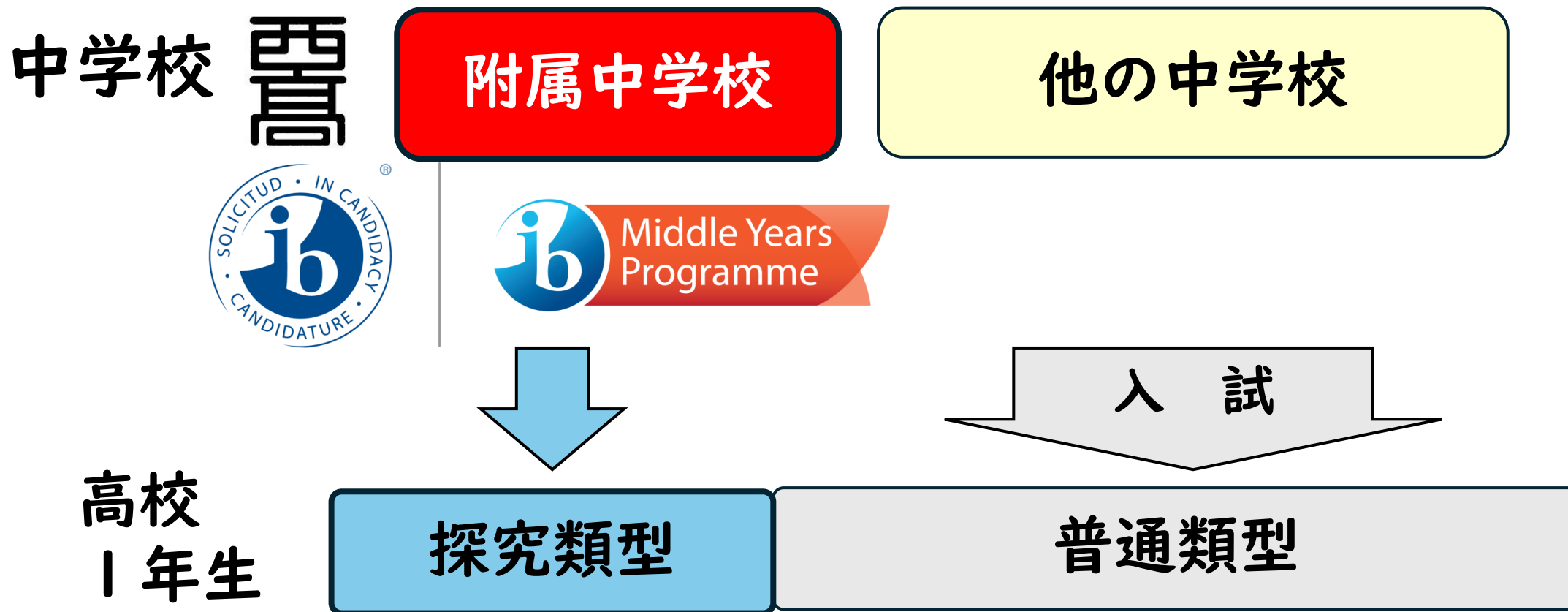
理

系
コース

高校

※令和11年度以降
「普通類型」

附中生内進後（R11年度～）の編成予定



※普通類型でも、これまで以上に「探究的な学び」は重視していきます。

附中生内進後（R11年度～）の編成予定

高校
1年生

西高

探究類型

普通類型



2年生
3年生

リベラル
・
アーツ
コース

ディプロマ
DP
・
プログラム
コース

文
系
・
コース

理
系
・
コース



※類型、コースの名称は仮称
※人数・選抜方法等は今後検討

探究類型で大切にする学び

附属中学校から高校探究類型へ
6年間で、自分の問いを大学やその先の社会での学びへつなげる

1

共通する目標

行動目標「挑戦する・貢献する・やり抜く」
生徒像「グローバル人材・自律した学習者」

2

6年間続く探究的な学び

問い・調べ・考え・伝え・振り返る

3

大学進学への接続

探究的な学びの成果を入試にも生かす

4

2つの高校コース

リベラル・アーツ (LA)
ディプロマ・プログラム (DP)

探究類型の魅力① 共通する目標～6年間一貫した教育

本校の目的・目標

グローバルな視野と行動力を備えた、自律した学習者

さまざまな教育活動



IBプログラム



授業



探究活動



学校行事



部活動・生徒会



地域・社会連携

NISHIO GLOBAL 3C



Challenge
挑む



Contribute
貢献する



Commit
やり抜く



3Cを通して、あらゆる教育活動が学習者の育成につながる



3Cは合言葉ではなく、授業・探究・学校行事・部活動で実践する
「行動目標」です。

探究類型の魅力② 6年間続く「学び方」

教科も探究も、問い・探究・振り返りを軸に

1 中1・中2

問い・調べる・考える・振り返る



2 中3

自分の問いを深める
学び方を自分で使う



3 高1 探究類型

MYP最終学年として
調査・論証・発表を高度化



4 高2・高3

教科でも探究型の学びを継続
LA / DP で研究・論文へ発展



附属中で身につけた「学び方」を、**高校でも途切れさせない**

学びの積み重ねが、大学進学につながる。

1 中学校で育む

- ✓ 問いを立てる
- ✓ 調べる・比較する
- ✓ 協働する・振り返る



2 高校で深める

- ✓ 探究成果
- ✓ 論文・発表
- ✓ 活動記録



3 大学入試で伝える

- ✓ 志望理由
- ✓ 小論文・面接



✧ 入試のために探究するのではなく、探究の成果を入試にも生かす ✧

大学入試の選抜方式

一般選抜



学力試験が中心

学校推薦型選抜



調査書・面接など

総合型選抜



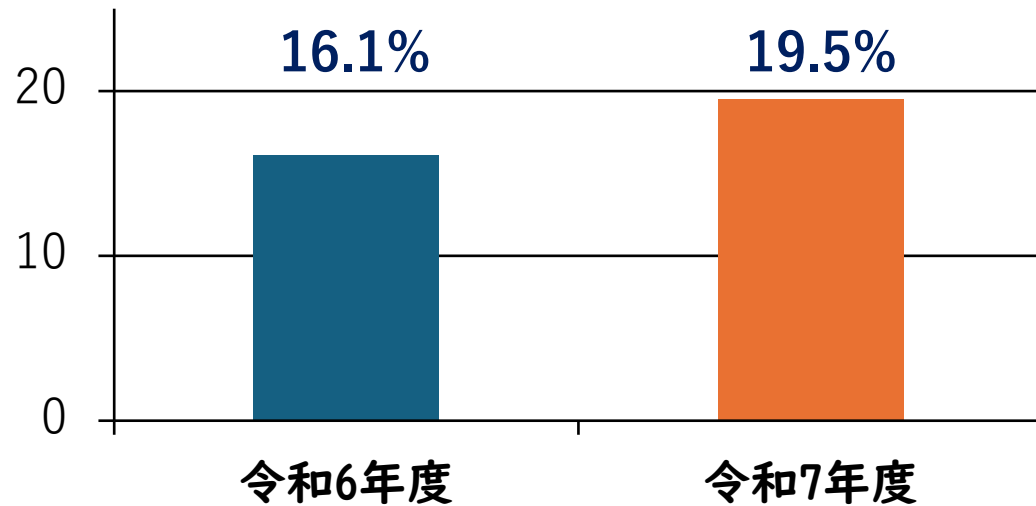
志望理由・探究成果



探究類型では、**探究の成果**を入試にも生かす

大学入試は、一般選抜だけではない時代へ

大学入学者に占める総合型選抜の割合



国公立大学でも実施が広がっています

89.9%

令和8年度：総合型選抜を実施する
国公立大学の割合



探究類型では、6年間で培った探究・論文・発表の力を、大学進学にも生かします。

出典：文部科学省「大学入学者選抜実施状況」等。

※令和8年度の国公立大学実施割合は分類方法変更の影響があるため、前年との単純比較はしません。

総合型選抜で実際に見られるもの

点数だけでなく、「高校で何を学び、大学で何を深めたいか」を多面的に見ます。

学力

授業・成績・基礎学力

探究

問い・調査・分析・考察

表現

文章・面接・発表

目的

大学で何を学びたいか

総合型選抜は「学力を問わない入試」ではありません

探究類型の魅力④ 高校2年から2つのコース案

どちらも、附属中で育てた「問い、調べ、考え、伝える力」を土台にします。

LA(リベラル・アーツ)コース

- ・幅広い教科をつなぐ
- ・自分の問いを深める。
- ・学び方を学ぶ
- ・国内大学進学へ

DPコース



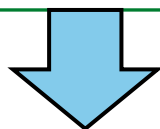
- ・ 世界共通のカリキュラム
→ディプロマ資格の取得を目指す
- ・ 深く学ぶ6教科 + 哲学かつ実践的な学び
- ・ 国内大学 (IB入試・総合型選抜)、海外大学等の可能性を広げる

※DPコースに在籍すれば自動的に取得できるものではなく、最終試験、内部評価、課題論文などを含むDP全体の評価で所定の条件を満たす必要があります。

探究類型の魅力④ 高校2年から2つのコース案

LA（リベラル・アーツ） コースの魅力

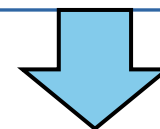
- 自分の問いを、社会につながる研究へ
- 興味のあることを深く調べる
- 教科を越えて考える
- 地域、大学、社会と学ぶ



自分だけの学びの軸を築く

DPコースにしかない魅力

- 自分の考えやスキルを、世界共通の基準で磨く
- 6教科を幅広く、そして深く学ぶ
- 知識を問い、個人研究に挑む
- 学びを社会での行動につなげる



世界で通用する学び方に
挑戦する

どちらのコースでも、「学ばされる人」から「自ら学ぶ人」へ

附中生内進後（R11年度～）の編成予定

高校
1年生

西高

探究類型

普通類型



2年生
3年生

リベラル
アーツ
コース

ディプロマ
プログラム
コース

文
系
コース

理
系
コース



※類型、コースの名称は仮称
※人数・選抜方法等は今後検討

県立附属中学校説明会

令和9年度入学者選抜について

愛知県教育委員会高等学校教育課

1 募集人員・通学区域

募集人員 70人

通学区域

西尾附属中学校

三河学区

豊橋市	岡崎市	豊川市	碧南市	刈谷市	豊田市
安城市	西尾市	蒲郡市	新城市	知立市	高浜市
田原市	みよし市	額田郡	北設楽郡		

上記に加え、知多郡南知多町篠島及び日間賀島

2 出願資格・出願の制限

- 1 令和9年3月に小学校などを卒業する見込みの人
- 2 令和9年3月に海外日本人学校を卒業する見込みの人
- 3 令和9年3月に海外現地校で6年の課程を修了する見込みの人
- 4 原則として保護者とともに愛知県内に住所を有する人
 - ※ 出願時に県外に在住
 - 入学式の前日までに転居予定なら出願は可能

出願は1校1コースに限る

3 出願の手続き

【あいち電子申請・届出システムによる出願手続き】

12月1日(火)9時から

12月10日(木)15時まで

① ユーザー登録

② 出願申請

③ 志願先の学校による出願情報の承認

④ 入学検定料納付

3 出願の手続き

① ユーザー登録

Googleアカウント

LINE

メールアドレス

※ 確実に連絡が取れるものでお願いします

3 出願の手続き

12月1日(火)9時から

12月10日(木)15時まで

① ユーザー登録

② 出願申請

③ 志願先の学校による出願情報の承認

④ 入学検定料納付

3 出願の手続き

② 出願申請

本人情報 氏名、住所、生年月日、出身学校

保護者情報 氏名、住所、電話番号、メールアドレス

③ 志願先の学校による出願情報の承認

④ 入学検定料納付

3 出願の手続き

12月1日(火)9時から

12月10日(木)15時まで

④ 入学検定料納付 (2,200円をWeb上で納付)

クレジットカード決済

ペイジー決済

PayPay決済

3 出願の手続き

- ① ユーザー登録
- ② 出願申請
- ③ 志願先の学校による出願情報の承認
- ④ 入学検定料納付
- ⑤ 志願先の学校による受検票の発行(Web)
- ⑥ 志願理由書の提出
- ⑦ 受検(受検票を印刷し、持参する)

3 出願の手続き

- ⑥ 志願理由書の提出 12月14日(月)から
12月18日(金)

様式は県教育委員会のWebページに掲載
志願者本人が記入する
志願先の学校に郵送(簡易書留)で提出

4 出願の際、別の書類が必要になる場合(該当者のみ)

- ・ 志願者と保護者の現住所が異なり、それぞれが異なる学区に居住している場合
- ・ 一家転住等やむを得ない事情のため、学区外の県立附属中学校を志願する場合
- ・ 県外から出願する場合(海外も含む)
- ・ 外国人学校、海外日本人学校、海外現地校出身の場合

5 特別な事情のある入学志願者の手続き (該当する場合で、かつ、希望する人のみ)

- ・ 海外帰国児童にかかる受検上の配慮
- ・ 障害等のある入学志願者にかかる受検上の配慮

4 出願の際、別の書類が必要になる場合

5 特別な事情のある入学志願者の手続き

Webでの出願とは別に、申請書や証明書類が必要になるので、事前に県教育委員会へ連絡してください

事前確認・審査期間

10月1日(木)から11月24日(火)

6 1次選抜

適性検査Ⅰ、適性検査Ⅱ

出題内容 学習指導要領の範囲内
複数の教科を組み合わせた内容

検査時間 各45分

出 題 選択式(マークシートでの回答)

実施日 令和9年1月9日(土)

1次合格者の発表 令和9年1月13日(水)

7 2次選抜

個人面接

内 容 志願理由書に基づいて質問
(志願理由書には、主に探究活動について記載)

時 間 15分程度

実施日 令和9年1月16日(土)

合格発表 令和9年1月22日(金)

8 合格後の手続き

入学確約書の提出

令和9年1月25日(月)・26日(火)

保護者が合格校へ持参して提出

※ 入学確約書提出後の合格辞退は、他の志願者の著しい不利益となるため、原則としてできません。

9 今後の予定

10月頃

令和9年度入学者選抜実施要項

11月頃

Web出願マニュアル

12月1日～10日

出願手続き

【 県教育委員会のWebページをご確認ください 】